自分のまちを立体的に
～データから見みるまちづくり
情報提供コンテンツの作成～

栃木県　鹿沼市
都市建設部　都市計画課

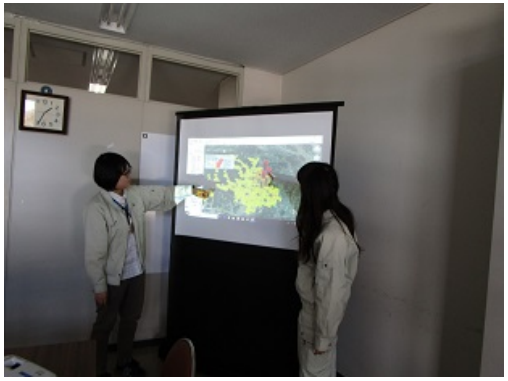
1. 触ってみて、操作しみて、考えよう

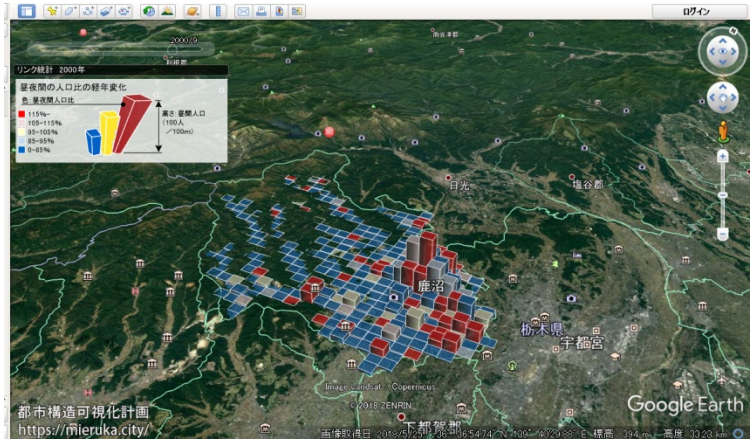
まずは、都市計画課内で実際に操作してみました。

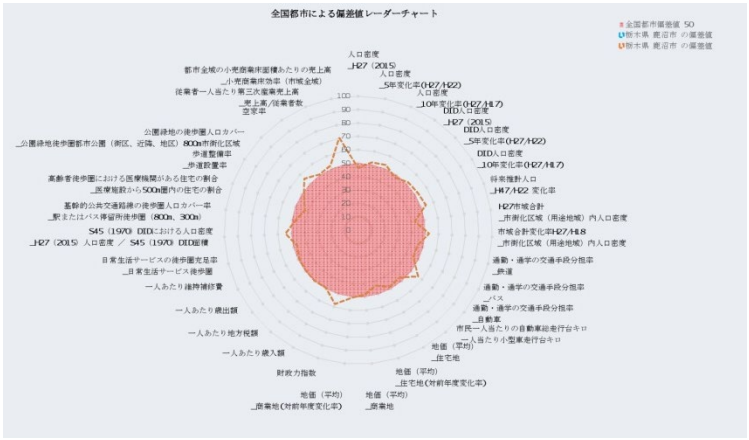
都市構造可視化サイトから実際にデータをダウンロードからグーグルアースへの表示までを体験。
3Dマウスの扱いに戸惑いながらも、楽しみながら・何に活用できるかを考えながら、操作をしていました。

2. 使ってみて、何ができるか考えよう

利用した感想の共有や他のデータ等も含めて活用検討を実施しました！







２.使ってみて、何ができるか考えよう

活用を検討する中で挙げられた意見は以下の通りです。

〇事業での活用

- □コンパクトシティ形成における活用
- □公共交通ネットワーク再編検討における活用
- □計画立案等の資料として利用できるのでは？
- □各課、実施する事業の根拠の可視化に使えるのでは？
  ⇒道路交通量を可視化による維持優先度の順位付け等

〇情報提供での活用

- □職員が抱くまちのイメージと数値から見る鹿沼の違い
- □データ提供により、危機感を抱く職員もいるのでは？
- □今後のまちづくりを考えるきっかけとなるデータの提供が可能では？

３.使ってみて、何ができるか考えた結果

前頁を踏まえた上で、今年度の活用の方向性を決めました。

○事業での活用

「公共交通ネットワーク再編検討における活用」
⇒「かぬま公共交通研究会」にて検討

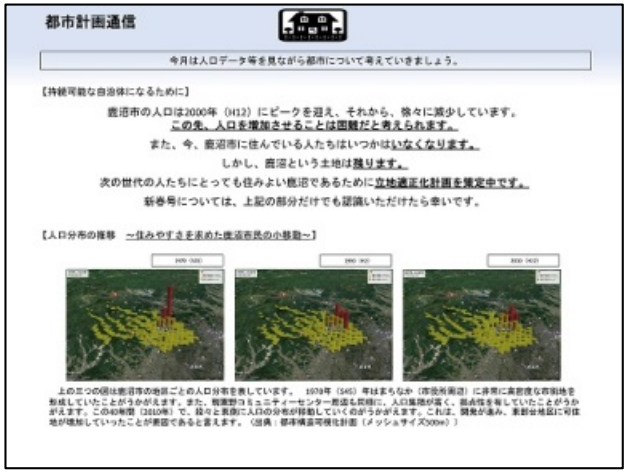
○情報提供での活用

「今後のまちづくりを考えるきっかけとなる
データの提供が可能では？」
⇒都市計画課にて検討

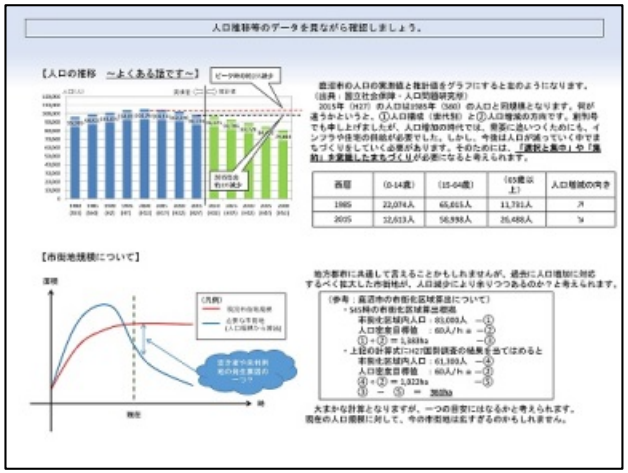
⇒全庁的な計画である立地適正化計画を立てる上で
職員のまちづくりに対する意識の向上を目的とした
さまざまな情報を提供するコンテンツの作成に利用！

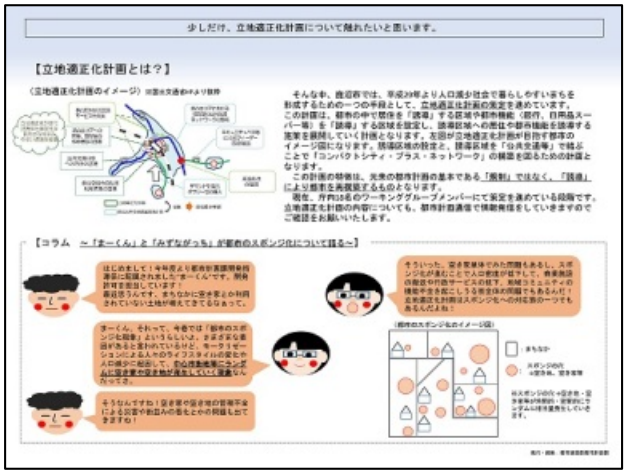
4. さて、どう活用した？

庁内職員に向けたまちづくりへの情報提供コンテンツ《都市計画通信》の作成



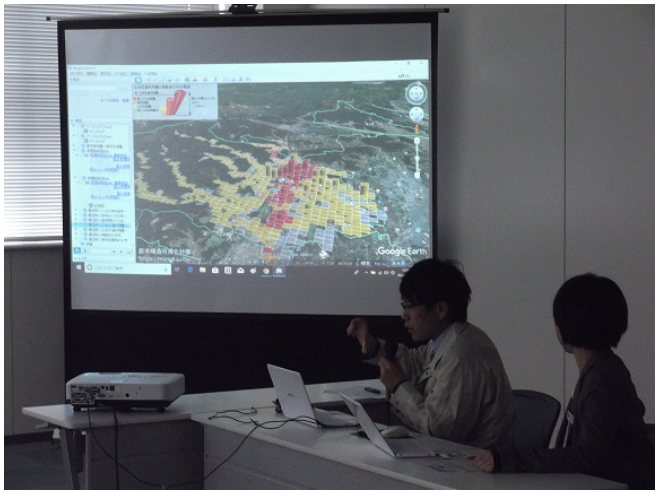
《都市計画通信》
都市計画やまちづくりに関する情報を提供する庁内機関紙を創刊(2018年10月から発行開始)
「まちを客観的に見る」をテーマに情報発信を行っています。
職員からは評価をいただいていますが、更に“身近でわかりやすい情報提供”を行うことが課題となっています。





５．最後に

県内の自治体への活用紹介を行ってきました。



　栃木県様より県内の自治体への操作デモや活用等について、発表する機会をご提供いただきました。

　都市構造可視化やRESAS等のデータ活用が都市の客観的な分析やわかりやすい住民説明等つながるのではないかと考えられます。

栃木県　鹿沼市
都市建設部　都市計画課